

平成27年度 事業計画書

自 平成27年4月1日

至 平成28年3月31日

東京都中央区築地3丁目11番6号

(一財) 日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)

I. 事業方針

本会は、わが国におけるモーターサイクルスポーツを統轄し代表する団体として、モーターサイクルスポーツの普及振興を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与する目的を達成するため、本年度は以下の基本方針に基づき事業を推進する。

■重点項目は下記とする。

- ・ 主要競技会の活性化
- ・ モーターサイクルスポーツを支える層の拡大（年少者／女性／愛好者）
- ・ アジア地域との連携
- ・ 社会的認知の向上（メディア露出の拡大）
- ・ 安全／環境対策

II. 事業内容

1. 競技会

1) 競技会主催事業

主催競技会（施設との共同主催含む）を15大会開催する。

2) 競技会公認・承認事業

規定に基づき全国の競技会・講習会を公認または承認する。(約500大会予定)

3) 主要競技会日程

主要競技会の公平を維持する為、必要に応じて審査委員長等を派遣する。

(1) ロードレース

①世界選手権／国際競技会／特別競技会 全大会MFJ共催／文部科学省後援／観光庁後援

開催日	格式	大会名	会場
7月3日～5日	国際選手権	F I Mアジア選手権ロードレース日本大会	鈴鹿サーキット
7月23日～26日	世界耐久選手権	コジウ鈴鹿8時間耐久レース	鈴鹿サーキット
10月9日～11日	世界選手権	M o t o G P日本グランプリ	ツインリンクもてぎ

② 全日本選手権（全 9 戦） 全大会 M F J と共催 / 文部科学省後援 / 観光庁後援

日程		会場	開催クラス			
			JSB	GP2	ST600	GP3
4月18-19日	第1戦	鈴鹿2&4	○			
4月25-26日	第2戦	オートポリス	○	○	○	○
5月30-31日	第3戦	もてぎ	○	○	○	○
6月27-28日	第4戦	SUGO	●	○	○	○
8月22-23日	第5戦	もてぎ2&4		○		
9月12-13日	第6戦	オートポリス2&4	○			
9月26-27日	第7戦	筑波		○	○	○
10月17-18日	第8戦	岡山国際	○	○	○	○
10月30-11月1日	第9戦	鈴鹿 M F J - G P	◎	○	○	○

※◎は1大会2レース制、●はセミ耐久。本年よりレース運営均一化を目的にレースディレクション制度実施、ST600のワンメイクタイヤ制度実施

(2) モトクロス

①全日本選手権（全 10 戦）

	日程	会場		日程	会場
第1戦 九州	4月4-5日	HSR九州	第6戦 東北	7月18-19日	藤沢
第2戦 関東	4月18-19日	オートポリス	第7戦 SUGO	8月29-30日	スポンサー SUGO
第3戦 中国	5月16-17日	グリーンパーク弘楽園	第8戦 近畿	9月12-13日	名阪スポンサー
第4戦 SUGO	6月6-7日	スポンサー SUGO	第9戦 関東	10月3-4日	オートポリス
第5戦 近畿	7月4-5日	神戸空港特設コース	第10戦 MFJGP	10月24-25日	スポンサー SUGO

※ 最終戦 M F J - G P は M F J 共催 / 文科省後援 / 観光庁後援

②モトクロス全国大会（文科省後援・観光庁後援）

ジュニア・国内 A/B 級の全国選抜大会を東北地区（SUGO）にて11月8日に開催。

(3) トライアル

① 世界選手権トライアル M F J 共催・文科省後援・観光庁後援

4月25日/26日 世界選手権日本グランプリ 会場：ツインリンクもてぎ

② 全日本選手権（全 7 戦）

	日程	会場		日程	会場
第1戦 関東	3月8日	真壁トライアル	第5戦 中国	9月6日	原瀧山 T R パーク
第2戦 近畿	4月19日	名阪スポンサー	第6戦 中部	10月11日	トヨタ トライアル
第3戦 九州	5月17日	矢谷溪谷トライアル場	第7戦 東北	11月1日	スポンサー SUGO
第4戦 北海道	7月19日	わかさむすび			

③ トライアルグランプリ大会

国内 A 級以下の全国大会を11月8日 広島県・灰塚ダムトライアルパークにて開催

(4) その他の競技

①全日本スノーモビル選手権（全5戦）

※開催は2015年1月～3月

	日程	会場		日程	会場
第1戦	1月25日	新潟（胎内）	第4戦	2月15日	北海道（士別）
第2戦	2月1日	長野（斑尾）	第5戦	3月1日	北海道（真狩）
第3戦	2月8日	北海道（真狩）			

※第5戦美瑛大会は雪不足のため会場を真狩に変更。

②全日本スーパーモト選手権（全8戦）※名称をスーパーモトに変更

	日程	会場		日程	会場
第1戦	4月26日	美浜（愛知）	第5戦	8月23日	SUGO（宮城）
第2戦	5月24日	HSR九州（熊本）	第6戦	9月20日	琵琶湖SP（滋賀）
第3戦	6月21日	It's（福島）	第7戦	10月11日	名阪（奈良）
第4戦	8月2日	TSカタ（広島）	第8戦	11月8日	茂原（千葉）

④全日本インデューロ選手権（全4戦）

	日程	会場
第1戦 中国	5月10日	テージャスランチ（広島）
第2戦 近畿	7月12日	プラザ坂下（大阪）
第3戦 北海道	9月19～20日	日高（北海道）
第4戦 東北	11月21～22日	スノーラント SUGO（宮城）

(5) 全日本選手権ランキング表彰式

全日本選手権各種目のランキング上位3名を表彰する式典を下記にて開催する。

開催日：平成27年12月19日（土）場所：東京・日経ホール ※予定

(6) 競技用車両・部品・用品の公認事業

競技会の公平性・安全性を維持する為、規定に基づき所定の要件を満たした競技車両・部品・用品を公認する。

(7) 競技施設の公認事業

競技施設の安全性を維持する為、規定に基づき所定の要件を満たした施設を公認する。

(8) サービス事業（競技運営用備品・用品の販売等）

- ・主催者に対し競技運営に必要な備品・用品・テキスト等を製作し販売を行う
- ・公認用品製作／販売会社に製品に貼付する公認を証するマークを販売する。
- ・規定に基づき参加者の昇格申請手数料、希望競技番号料等を受け付ける。

(9) 会員登録

- ・個人会員の申請受付・登録・会員証発送作業を行う（WEB申請・郵送申請）
- ・特別会員・賛助会員・プレス会員の申請受付・登録作業を行う。

Ⅲ. 普及事業

1. 年少者／女性／

1) MF Jロードレースアカデミー in MOTEGI

主催：（一財）日本モーターサイクルスポーツ協会

会場：栃木県・ツインリンクもてぎ。期間：2015年4月～9月

年間8回（10日間）※1日増加、年間参加（18歳以下）とスポット参加（年齢問わず、車両持込）とし、年少者だけでなく初心者を受け入れ、底辺の拡大を計る。

2) MF Jトライアルアカデミー

主催：（一財）日本モーターサイクルスポーツ協会

会場：茨城県・真壁トライアルランド（9回）、栃木県・ツインリンクもてぎ（1回）

期間：2015年9月～2016年1月 募集定員：20名 年少者（9歳以上）女性（年齢問わず）成人男性（年齢問わず）

3) レディースロードレース。

①ツインリンクもてぎにて年間3回・講習会3回を開催する。

2015年度開催スケジュール・会場：ツインリンクもてぎ			
	第1回	第2回	第3回
講習会・	5月23日（土）	6月28日（日）	11月1日（日）
レース開催日	5月31日（日）	7月5日（日）	11月8日（日）

4) 親子バイク祭り

ミニバイク／ポケバイとの連携を目的にイベント開催予定（開催日未定）

Ⅳ. 広報対策

会員、メディア・販売店・一般への情報を内容に応じ、下記媒体を活用し発信する。

- 1) 情報発信はホームページを主体とする。加えて会員へメールでダイレクトに情報配信
- 2) 全日本モトクロスは専用HPを活用、エンデューロ、スーパーモトは外部HPとリンク
- 3) 広報部会を通じ、専門誌/一般メディアを対象にメールマガジンを発信し露出の拡大を図る。
- 4) メディア懇談会を開催し連携を図り、意見を頂き、告知協力を依頼する。
- 5) ネットワークショップ検索システムを活用する
- 6) モーターサイクルショー等で主要競技と普及イベント告知を小冊子等の手段で行う。
- 7) 国内競技規則書の発行（年間1回）※JKA補助金事業
- 8) 後半戦の主要競技会の見どころを中心にライディングリミテッド（フリーペーパー）を作成（7月発行）加盟団体・施設・用品量販店等に配布

9) プロモーション事業

- ・ 全日本ロードレース／モトクロス全戦の放映（無料BS放送・BS12 毎週土曜夜7時）
- ・ 全日本ロードレースのインターネット動画ライブ配信
- ・ 専用ホームページ「superbike.jp」による情報発信
- ・ メディア向けのシリーズ概要資料作成・配布
- ・ 東京モーターサイクルショー等への出展・広報
- ・ 若手育成のユースカップ奨励賞設定（MotoGP 日本 GP ワイルドカード出場時のサポート）
- ・ ファンクラブ（スーパーバイクサポーターズ）の運営

V. 安全・環境対策

セーフティ委員会・メディカル部会・競技用装備部会にて以下課題に取り組む

- 1) 規定に基づき所定の基準を満たした競技施設の公認（必要に応じて査察）
- 2) 規定に基づき所定の基準を満たした装備品の公認
- 3) 装備の基準策定と推奨（マウスガード推奨、エアバッグベスト義務化に向け検討）
- 4) 熱中症・脳震盪などの対応と復帰プログラムの推進
- 5) 全日本モトクロス全戦で医療用品の配備
- 6) 事故再発防止を主眼とする事故調査
- 7) モータースポーツライセービング機構（LSO）に加盟。
- 8) ロードレースにおけるサーキットアドバイザー制度の補助。（随時）
- 9) モトクロス・スノーモビルを中心に観客安全対策の強化。（新マニュアルに基づきネット・コーステープ・立ち入り禁止表示等強化）※全日本モトクロス選手権シリーズ主催者・会場へネットフェンスを支援
- 10) インストラクター養成事業の継続ならびに、競技役員セミナー等で人材育成を行う。
- 11) ドーピングコントロールの実施
全日本ロードレース・モトクロス・トライアルで年間各1回検査を実施する。
※スポーツ振興基金助成事業

VI. 組織について

1. 地域組織について

- 1) 加盟団体の業務委託形態と内容について日本二普協と協議し変更。
- 2) 全日本選手権等主要イベントの集客向上
- 3) 全日本モトクロスの持続可能な運営形態の協議。
- 4) MFJ ネットワークショップ加入促進活動。
- 5) 加盟団体会長・事務局長会議を定期的を開催する。

2. 中央組織について

- 1) 中央スポーツ委員会の方針に基づき、各委員会・部会を進行する。

VII. 国際対策

- 1) 国際モーターサイクリズム連盟（以下 FIM という）、FIM アジア協会への加盟、連絡、調整
- 2) F I M 総会・F I M アジア総会へ委員及び事務局員の派遣。
- 3) F I M 規則の翻訳
- 4) F I M・FIM アジアライセンスの発行
- 5) FIM 世界選手権の運営に求められる主要競技役員の資格認定の為、F I M 競技役員セミナーを開催、または派遣。（ロードレース、車検長、トライアル、環境、メディカル）
- 6) 代表選手派遣
 - ・アジア国別対抗ロードレース等に日本代表チームを派遣する。<日程未定>
 - ・国別対抗世界選手権の代表チームの選抜と認定
- 7) 国内で開催される世界選手権・国際選手権等に関する連絡・調整・運営
- 8) アジア国別対抗ロードレースの開催 ツインリンクもてぎ 8月23日
- 9) その他国際交流の促進

VIII. 補助金事業

1. (公財) J K A オートレース
 - 国内競技規則書（12月発行平成28年版） 交付申請額：7,019,000円
 - 交付内定額：2,033,000円
2. 独立行政法人日本スポーツ振興センター「スポーツ振興くじ助成事業」
 - 平成27年度ドーピングコントロール 交付申請額 3,679,000円
 - 交付内定額 3,311,000円

IX. その他の事業

- 1) 諸会議の開催
 - MFJのスポーツ事業を円滑に推進するために必要に応じて諸会議を開催する。
 - ・理事会（6月/12月/3月）・評議員会（3月/6月）加盟団体会議
 - ・中央スポーツ委員会・技術委員会・専門委員会・部会
- 2) スポーツ安全保険
 - ・会員のスポーツ安全保険加入管理業務を行う。
 - ・受傷時の確認作業・保険会社への連絡等業務を行う。

- 3) 競技会管理システムの開発
 - ・主催者/MFJ 間の競技会報告書類を電子化するシステムの開発に着手する。
 - 競技会報告：H 2 8 年 1 月から稼働目標。
- 4) エンジョイ会員と承認競技の活性化
 - 以下対策により、承認競技を増やしエンジョイ会員を拡大する活動を行う。
 - ① 2015 年よりエンジョイ会員の会費を改定。(3,000 円⇒1,000 円)
 - ② 賠償責任保険など承認競技とすることによる万一の場合の補償の継続を説明
- 5) 競技以外の一般ライダーを対象とした会員制度の検討
 - 一般ライダーを対象に既存会員制度を持つ企業と連携し特典を設け組織化をする方向で
 - リサーチと準備作業を昨年引き続き継続。
- 6) ライセンス取得講習会制度を変更、講習会主催者が開催しやすく。より多くの講習会の実施を促進。
- 7) 東日本大震災の被災地の復興支援を目的に被災地域をアROUNDするツーリングイベントを試験的に実施予定 (10 月 17 日・18 日)

以上